

常なる磐

つねなる いわ

令和2年6月26日(金)号

◇ あたりまえ②

6月第2週の朝会（全校集会）。 児童への話は、「あたりまえ」について。

本格的に学校が始まり、先週は、月曜日から金曜日まで6時間授業でした。その中で、全員が欠席なしで登校できました。 本当によく頑張りました。毎日登校するには、今は少し力が要ります。 もう少し頑張ってください。この頑張りは、もうじき「あたりまえ」に感じてきます。

今日は、「あたりまえ」についての話をします。

何でも「あたりまえ」になるまでには、自分で意識することと、少しの頑張りが必要です。でも、続けていると、意識しなくても、頑張らなくてもできるようになります。これが「あたりまえ」です。

「あたりまえ」になるまでは、少し意識をして、少し頑張る。

そうすると、大きな声で挨拶をすることも、間違えてもいいからたくさん挙手することも、靴箱の靴やトイレのスリッパを整頓することも、毎日学校に登校することも、意識しなくても、頑張らなくても、できるようになります。意識しなくても、頑張らなくても、「あたりまえ」にできるようになります。

この「あたりまえ」を増やしていくことが大事です。

中学生になっても、高校生になっても、大人になっても、おじいさんやおばあさんになっても、「あたりまえ」を増やしていく。

あなたの「あたりまえ」は何ですか。 今度、聞きますから、教えてください。

そして、あなたの「あたりまえ」を増やしていきましょう。

人は、【「あたりまえ」のことが「あたりまえ」にできるようになる】ことで、徳を積むことができる。公共(徳)心を高め、自然に良識のレベルが上がっていく。

例えば、自分がトイレで使用したスリッパを「あたりまえ」に整頓できるようになると、それ以外のスリッパを整えたり、トイレの前を通りかかっただけで、乱れたスリッパを整えたりできるようになる。つまり、行動に磨きがかかる。

- ・自分の中の「あたりまえ」を増やしていく。
 - ・友の「あたりまえ」に刺激を受け、友の「あたりまえ」を自分の力にしていく。
 - ・学級の「あたりまえ」について考え、集団の「あたりまえ」を増やしていく。
 - ・個や学級の小さな「あたりまえ」が、学校の「あたりまえ」になっていく。
- 「あたりまえ」をたくさん備える子供が集う学校にしていくのが私の願いである。